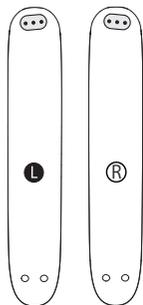
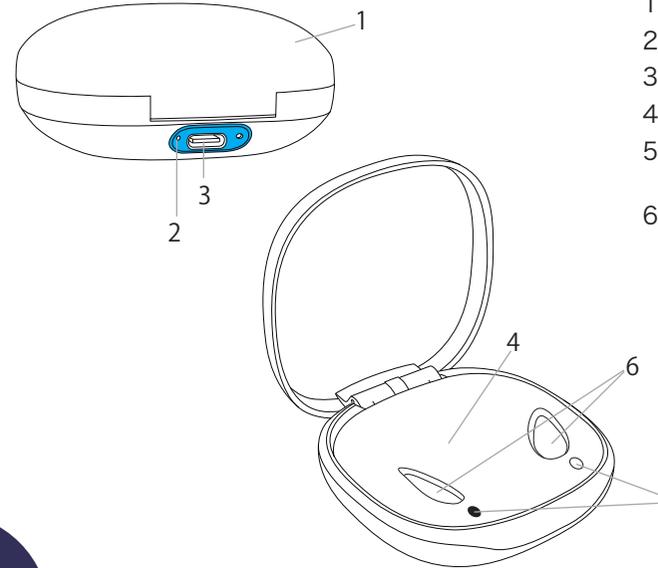


1. インジケータランプ
2. レシーバワイヤー
3. マイク (音の入口)
4. 充電用接点
5. 耳せん (イヤチップ)
6. レシーバユニット
7. スポーツロック
8. 多機能ボタン



※ この補聴器は左右があらかじめ設定されています。補聴器の腹部に「R」(右耳用)「L」(左耳用)の文字がありますのでご確認ください。

## 補聴器 各部名称

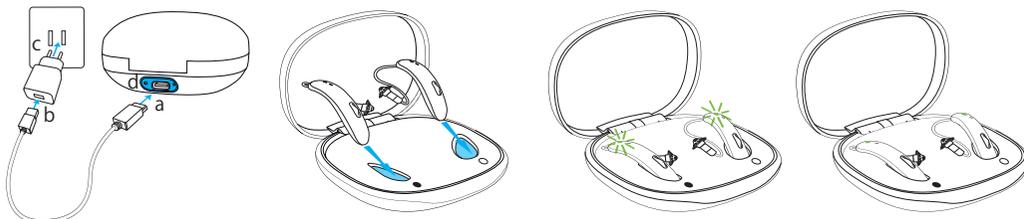


1. 充電器本体
2. 通電確認インジケータ
3. 充電用 USB-C ポート
4. レシーバ格納スペース
5. 右左識別マーカー (白 R=右) (黒 L=左)
6. 補聴器充電用格納ベイ

## 充電器 各部名称

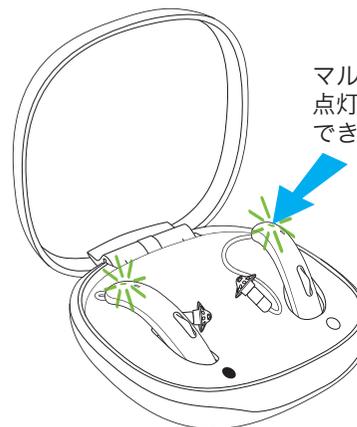
## 充電開始・完了

1. 付属の USB-C ケーブルを充電器のポートにさし込み、コンセントへ接続します。
2. 充電器に補聴器をセットします。右左はベイ部分にある白黒の丸印マーカーにて確認します。
3. 充電が始まると補聴器の動作確認ライトが点滅を始めます。点滅色で容量がわかります。
4. フル充電されると補聴器の動作確認ライトが点灯します。充電完了までは約 3 時間です。



## ランプの状況

### 補聴器本体の充電状況



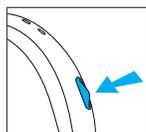
マルチインジケータの点灯色でどれくらい充電できたか目安になります

本体LED色	本体の残量	充電時間
●●● (赤点滅)	0 - 10%	
●●● (オレンジ点滅)	11 - 80%	30分 (30%) 60分 (50%) 90分 (75%)
●●● (緑点滅)	81 - 99%	
●●● (緑点灯)	100%	3時間



## ※ 多機能ボタン

この補聴器には、「多機能ボタン」が備わっています。ボタンの短押し・長押しにより、ボリューム操作やプログラムの切り替え等の役割が割り当てられています。



<初期設定>

両耳装用の場合	短押し	長押し
右耳側ボタン	音量を上げる	プログラム変更
左耳側ボタン	音量を下げる	

片耳装用の場合	短押し	長押し
ボタン	音量を下げる (ソフト上で変更可)	プログラム変更 (1.5秒) (ソフト上で変更可) 電源のオン/オフ (3秒)

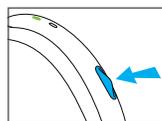
## 多機能ボタン 1

## 1. 電源のオン・オフ

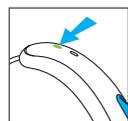
通常通電された充電器への補聴器の出し入れでオン・オフができますが、補聴器を使用中に電源操作をしたい場合は、多機能ボタンを**3秒間長押し**します。

補聴器の電源が…

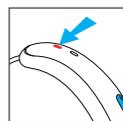
オンになる時は LED ランプが**緑色 9 回点滅**  
オフにする時は、**赤色 3 秒間点灯**します。



多機能ボタンを  
長押し



オン  
緑色9回点滅

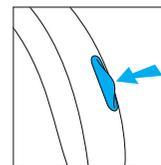


オフ  
赤色3秒点灯

## 2. メモリーの切り替え

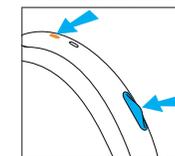
聴こえや聴取環境に応じて、メモリーを最大4つまで設定でき、メモリーボタンで呼び出せます。初期設定は、電源が入った時に必ず1番目のメモリー（環境別自動）が出るようになっています。多機能ボタンを**長押し**するごとに、2・3…と変更されます。「ポーン」という確認音の回数で、現在のどのプログラムなのかの確認が可能です。

※ 初期設定は環境別自動のみです。  
他のプログラムを設定したい場合は  
お店での設定が必要となります。



## 3. フライトモード設定

電波の使用や発信を禁じられるような場所にいる場合は、「**フライトモード**」に設定していただく必要があります。**電源が切れた状態**で LED ライトが**緑 ⇒ オレンジ色**に光るまで、多機能ボタンを**7 秒間押し**続けます。



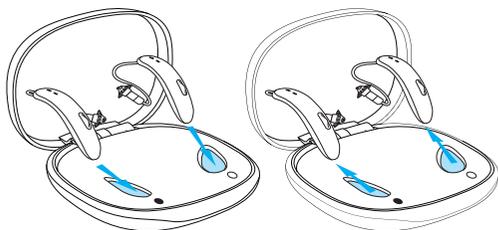
フライトモードを解除したい場合：  
電源を**オフ**にした後、再度**オン**にします。  
(電源操作の仕方については左側の「1. 電源のオン・オフ」をご覧ください。)

## 多機能ボタン 2

## 補聴器の操作

### 1. 充電器への出し入れ

- 形状が細長いため、格納ベイに沿って差し込むように入るとうまく収まります。
- 取り出す場合はふた側へ引っ張り出すようにしていただくと簡単に取り出せます。



### 2. 充電器で充電する前に

充電器へ入れて充電される前に補聴器本体、下部の**充電接触部分**を、柔らかい布などで拭き、汗やほこりなどを除去します。汚れなどがあるとうまく充電されない場合があります。

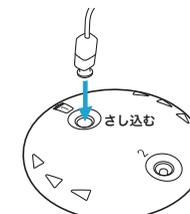
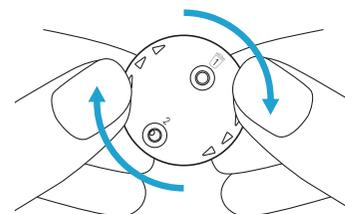
### 3. 電池残量警告音

補聴器を使用中「ポーンポーン」と2回鳴る**電池残量の警告音**が聞こえることがあります。警告音が出てもそのまま使用を続けると、充電がなくなり、補聴器から音が聞こえなくなります。もし警告音が鳴ったらできるだけ早く充電を行うようにしてください。

聞きにくくなる原因のひとつに、セルシールドの耳あか詰まりがあります。定期的に交換願います。

## セルシールド交換

(別売)



- 新しいセルシールドが「2」の穴から見えるまで、ディスクを矢印方向に回します。
- セルシールドを外します。「1」の穴にレーザーをまっすぐ「カチッ」と音がするまでさし込み、ゆっくりと引き抜きます。
- 新しいセルシールドを装着します。「2」の穴にレーザーをまっすぐ「カチッ」と音がするまでさし込み、ゆっくりと引き抜きます。